

石井厚生レンガ彫刻展

— 西風と東風のまにまに —

2009年10月24日(土)～12月6日(日)

石井厚生は、多摩美術大学で建畠覚造(1919～2006)の薫陶を受け、1960年代から作品発表を始めました。初期の金属作品や1980年代以降の石彫を経て、2000年代に入ると石井はレンガを素材として採用します。

その制作法は独特で、まずレンガはモルタルで接着されて直方体に積み重ねられます。こうしてできたレンガの塊から作品が生まれます。石や木の塊から彫刻がつくられるように、大きなレンガの塊から彫刻が彫り出されるというわけです。

レンガ彫刻の表面には、レンガの赤茶色とモルタルの灰白色とが織りなす様々な文様が現れます。レンガ彫刻は、空間や構造など三次元的な問題とともに、表面の質感、色彩などの問題を私たちに投げかけます。実は、レンガを接合しているモルタルには、イギリスの美術批評家ハーバート・リード(1893-1968)の著書『近代彫刻史』を繊維状にした紙片が混ぜられています。それは、彫刻芸術の根源を追究しようとする作家の強い意志の現れといえるでしょう。

副館長 毛利伊知郎

石井厚生

- 1940 千葉県大原に生まれる
- 1964 多摩美術大学彫刻科卒業 行動美術展出品 (以後毎年出品、'03、'09不出品)
- 1997 第4回緑の彫刻賞受賞
- 2002 第23回中原悌二郎賞優秀賞受賞
- 2003 第13回長野市野外彫刻賞受賞
- 2005 第12回本郷新賞受賞

主な個展

- 1990 ギャラリーせいほう、東京 ('90、'92、'99、'07)
- 1985 愛宕山画廊、東京 ('85、'90、'95)
- 2004 ギャラリー山口、東京
- 2005 「本郷新賞記念展」札幌彫刻美術館、北海道
- 2009 「石井厚生レンガ彫刻展」三重県立美術館—柳原義達記念館

主なグループ展

- 1964 「現代日本美術展」 ('68)
- 1967 「第2回現代日本彫刻展」 ('75)
- 1970 「今日の作家'70年展」横浜市民ギャラリー ('88)
- 1982 「神戸須磨離宮公園現代彫刻展」、「世田谷美術展」世田谷美術館
- 1988 「現代作家シリーズ」神奈川県立県民ホールギャラリー
- 1994 「スペースコンセプト展」埼玉県立近代美術館、愛知県美術館
- 1996 「アイランドと日本の美術」ノルディックハウス・レイキャヴィック
- 1997 「緑の彫刻賞受賞記念展」倉吉博物館、鳥取
- 2006 「闇に漕ぐ舟」ギャラリー山口、ギャラリー東京ユマニテ、東京



時空・A (2007年) 10.5cmx10.5x10.5 レンガ、モルタル(近代彫刻史ハーバート・リード著の紙片混入)

Mie Prefectural Art Museum
三重県立美術館



左 \ 番号: 180 西國ノ東國ノ井上井上(2007年) 190(h)cm x 76 x 76 中 \ 番号: 163 (2004年) 32.5(h)cm x 153.5 x 153.5 右 \ 番号: 161 (2004年) 77(h)cm x 155.5 x 96.5
レガ、ホテル近代理想街ハート・リテラの著の壁片混入